

八千代オイコス

コスモス・エコウォーキング

2018年10月21日(日)

- ① 新萱田の弁天宮と水神宮
- ② 萱田・長福寺(赤寺)
- ③ 熊野神社
- ④ ボンテン塚と出羽三山参り碑
- ⑤ 萱田・時平神社
- ⑥ 飯繩神社
- ⑦ 富士美橋



ゴミ拾いを通して、キレイな環境を実現!

オイコス花輪川活動ベース地



ボンテン



1. 新萱田の弁天宮と水神宮

八千代中央駅南側の窪地の奥に弁天宮と水神宮が祀られています。名主ヘエベエが弁天を祀った伝承が残るヘエベエ弁天と安政6年(1859)に日照りが続き雨乞いして雨を降らせた名主平左衛門が建てた水神宮がある。

2. 萱田山長福寺(赤寺)

市内には、長福寺というお寺が二つ有り、もう一つは米本にありますが、山門などが朱塗りの為、通称赤寺といわれる真言宗のお寺です。

本尊は阿弥陀如来坐像で他に十一面観音も安置されている。山門外に新しい昭和60年造粒の六地蔵が、内側に文化4年(1807)造立の古い六地蔵が並んでいる。境内には吉橋大師創立当初からの21番札所があり、八千代八福神の寿老人が右手にあかざの杖、左手に桃を持ち、鹿を連れた銅像があります。石造三層塔は寛文9年(1669)造立てで二層目の正面に勢至菩薩像、両側面に二十三夜講と日記念仏講が刻まれ、珍しい石塔です。裏の墓地に大正12年関東大震災時の異国人(朝鮮人)犠牲者を供養したものを昭和58年に改葬した「異国人供養塔」がまつられています。

江戸時代、長福寺は寺子屋でした。教え子達(筆子)が先生への謝恩の為に建てた墓や記念碑を「筆子塚」といいます。

六地蔵は、地蔵菩薩の6分身をいう。生前の行為の善悪の如何によって、人は死後に、地獄・畜生・餓鬼・修羅・人・天という六道の境涯を輪廻、転生するといわれるが、それぞれに衆生救済の為に配される、壇陀・宝印・宝珠・持地・除蓋障・日光の6地蔵をいう。

3. 熊野神社

元禄12年(1699)の庚申塔や聖徳太子塔が二基あり、台座に職人中とあるが、太子は職人の間で流行。

4. ボンテン塚と出羽三山碑

春先に、冬の間に弱まった太陽の力を復活させ、当年の豊作を祈願する天道念仏を行う際、藁と竹、五色の色紙でボンテンを作り念仏を踊ったのち、ボンテン塚に運びボンテン立てをします。この行事は出羽三山参りを行った人たちが中心で行う事から、ここに出羽三山碑を建てる事が多かったようです。出羽三山参りは、一人前の男として認められる為の修行で、跡継ぎの重要な通過儀礼です。出羽で修行に訪れる人々を経

嘗する宿坊に宿泊させ、食事・修行の世話をすると、神官で御師と呼ばれる人々が、担当エリアを決めて、お参りの勧誘に各地を訪れた事が、三山参りが根付き、特に下総を担当した御師が熱心であった事から房総の中で下総が盛んになった要因と考えられ、直近では3年前に三山参りをした、という石碑を見ました。

御師はお参りに訪れた講の人々を、酒食でもてなし、修行の先達を務めます。

5. 萱田時平神社

時平神社は、大和田・萱田町・小板橋とここ、市内に四ヶ所ある。平安時代の権力者・藤原時平を祀っている。時平は菅原道真を陥れ、大宰府に左遷させた人物として有名で、道真はその後、怨霊となって恐れられた。道真が亡くなると殆ど同時に時平も39歳の若く亡くなった。なぜ、この地に時平神社が?、という疑問が残る。高津にある高津比咩神社に祀られているのが、時平の娘の高津姫であることに由来する、という伝説がある。大和田・萱田町の時平神社と高津比咩神社は、三山の七年祭に参加する。次回は、2021年。

6. 飯糰神社

萱田の産土様。33年に一度大祭がある。次回は2028年。太田道灌が文明11年(1479)に米本城(あるいは臼井城)を攻めるとき陣を張り戦勝祈願の為本尊の十一面観音をこの地に埋めた。元和8年(1622)に掘りだされ祀られた。拝殿内には大絵馬二枚、天保6年(1835)の「神馬の絵馬」と同時期と思われる「雨乞い祈祷の絵馬」があり、市文化財。

境内にある鐘楼は、本来寺院にあるもので、明治までは、萱田長福寺の所有物。

明治になり神仏分離令が出されたが何らかの理由で残ったと考えられるが詳細は不明。入口上の欄間に龍の彫り物があり雨乞いの時に池に浮かべて使ったようだが、盗難にあって現在はありません。

7. 富士美橋

新川遊歩道に架かる橋で、ここからは、冬の晴れた日には、冠雪した富士山を見る事が出来ます。また、スカイツリーも望め、眼下の川では、カワセミに会える幸運もあります。